

## 令和元年度第3回北海道立図書館協議会 議事録

日 時：令和2年2月26日（水）14:00～16:00

会 場：道立図書館研修室

出席者：協議会委員6名、道立図書館職員14名

傍聴者：0名

### 議事等

#### 1 議題

「令和2年度北海道立図書館運営計画」について

#### 2 その他

議事録 （○～委員の発言 ●～道立図書館職員の発言）

### 1 議題

「令和2年度北海道立図書館運営計画」について

#### ○（木村 純 会長）

こんにちは。新型コロナウイルスが流行っていますが、皆様御都合つけてくださってありがとうございます。私は明日、千歳市役所で講演をする予定だったのですが、月曜日に中止の連絡があり、またの機会にということになりました。

いつも協議会では読んでいる本のお話をしていて、まだ読んでいる途中ですが、この間中島京子さんの『夢見る帝国図書館』のお話をしましたが、中島さんも推薦している『炎の中の図書館』を読みました。これは、1986年にロサンゼルス中央図書館が大火災を起こして110万冊の図書と貴重な資料を焼失するのですが、図書館が大好きなスーザン・オーリアンという著者が、火事がどのようにして起こったか、犯人とされる青年についてやその人が本当に犯人なのかということについて、いろいろ議論しながらその後火災から立ち直って、ロサンゼルス中央図書館が未来に向かって進んでいくという話です。この間お話したニューヨーク公共図書館のように包摂的な役割を果たす図書館で、なかなか面白い本です。鞆の中に入れてままなので、中々読み進められないのですがとても良い本ですので機会があったら読んでいただければと思います。

それでは、皆様の御協力をいただいて議事を進めたいと思います。

本日の議題は、「令和2年度北海道立図書館運営計画」となっておりまして、説明は利用サービス部長からいただきます。よろしくお願ひします。

#### ●（伊藤 信彦 利用サービス部長）

令和2年度北海道立図書館運営計画について説明・・・資料1

#### ○（木村 純 会長）

ただいまの説明について、質問や意見ありませんか。

#### ○（中村 真実 委員）

資料13ページの北方資料蔵書冊数は、目標指標なのでしょうか。それとも変動がないということなのでしょうか。

#### ●（一戸 泰 北方資料サービス課長）

今年度と来年度の目標が同じ数字となっているのは、今年度の目標達成が困難になっているため来年度も同じ目標とするということです。

- (中村 真実 委員)  
わかりました。ありがとうございます。
- (木村 純 会長)  
それは、欲しいものがあるけれど、なかなか予算がつかないののでできないということなのではないでしょうか。当面緊急に揃える必要がないのでしょうか、どういうことで変わらないのでしょうか。
- (一戸 泰 北方資料サービス課長)  
目標数値は、蔵書冊数として、年間受入冊数 3,000~4,000 冊のほとんどは寄贈資料です。目標を達成できなかったのは寄贈資料の整備が追いつかなかったという状況です。書店から購入する本につきましては従来通り収集は進めることができております。来年はこの目標を目指して頑張りたいと思います。
- (木村 純 会長)  
整理を重点にするという理解でいいですか。
- (一戸 泰 北方資料サービス課長)  
そうですね。そちらの方を充実させたいと考えています。
- (木村 純 会長)  
他に如何でしょうか。  
文書館と連携するということですが、すぐ近くに文書館ができたので日常的に話し合う機会は当然増えると思うのですが、きちんと定期的、組織的に場を設けるとかそういうことはあるのでしょうか。
- (吉原 和夏子 北方資料室長)  
文書館の引っ越しがこの 2 月末から 3 月初めにあるのですが、施設管理などの面で、引越後に見えてくる課題もあると思います。まずはそこを対応して落ち着いてからそういう話をしていくことになるのではないかと考えています。
- (木村 純 会長)  
ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
- (竹次 奈映 委員)  
運営計画 15 ページの道内図書館以外との連携で、文学館とか青少年教育施設との連携がありまして、体験活動と読書活動のコラボレーションを進めていくというお話があったのですが、具体的にはどういう連携をイメージしているのか伺えるとありがたいです。
- (伊藤 信彦 利用サービス部長)  
体験活動と読書活動のコラボレーションで具体的に想定していますのは、9 月 26 日の道立図書館まつりの際に、前庭で青少年教育施設から体験活動の出し物を用意していただいていることを考えています。その他にネイパル砂川との連携で、『ぐりとぐら』という本に出てくるカステラ作りもやってみたいということで打合せを進めているところでございます。
- (竹次 奈映 委員)  
おもしろそうですね。ありがとうございます。
- (木村 純 会長)  
他にいかがでしょうか。西村委員お願いします。
- (西村 宣彦 委員)  
何点かございます。資料 9 ページの、大学生のボランティアの募集を行うということですが、例年と違ったやり方で集めようとお考えなのかということが一つ。  
10 ページのフェイスブックのアカウントを設けられたというお話がありましたが、

友達になるかたちなのですね。理由があるのでしょうか。

三つ目、道議会について、具体的に従来と比べてどのような所がオープンになったのか教えていただきたい。

最後に、北方資料室が文書館に移ったことで、書架の入替えを行って空いたスペースには多目的室を作るというそのあたりを教えていただければと思います。

●（中田 こそえ 一般資料サービス課長）

大学生のボランティアについては、今年度は動きがとれなくて、現在作成している利用案内を使って、大学にPRしていきたいと考えています。また、大学生向けのポスターも作って、このようなボランティア活動を募集しますというような形で大学に対して広報物を送ったりしたいと考えています。

○（西村 宣彦 委員）

大学でポスター、ちらしを提示するというのでしょうか、図書館学を学んでいる学生たちにアプローチしていくこともお考えでしょうか。

●（中田 こそえ 一般資料サービス課長）

図書館学を学んでいる学生へのアプローチなどについてはプラスアルファの働きかけと考えられると思っています。まず一つめは宜しいでしょうか。

●（桑原 裕子 一般資料室長）

フェイスブックの設定についてですが。

○（西村 宣彦 委員）

偽物サイトでなければこちらで友達申請をする形なのですね。そういう方法もあるのですが、いいねを押せば情報が見られる使い方があります。フェイスブックはまだ作られたばかりですよ。

●（桑原 裕子 一般資料室長）

フェイスブックの偽ページも2種類くらいありまして、その辺のところを合わせて確認していきたいと思います。ありがとうございます。

○（西村 宣彦 委員）

まだまだこれからということですね。

●（中田 こそえ 一般資料サービス課長）

道議会がオープンするところを。

○（西村 宣彦 委員）

従来より入りやすくなるのだそうですね。

●（中田 こそえ 一般資料サービス課長）

はい。新聞報道にもあるのですがルートも2通り作りまして、議員、職員のみが入れるスペース、一般の人がフリーで入れるスペースと分けることになっています。今度、道議会図書室が入るスペースは、一般の人がフリーで入れるスペースになっています。利用サービス部長からの話は、そういうことに関する説明だったかと思っています。

○（西村 宣彦 委員）

我々も従来のように閲覧することはできますか。

●（中田 こそえ 一般資料サービス課長）

それは変わりません。今は警備員に名札をいただいて入るようになっているのですが、そういうことは全く無くなって、玄関から直接2階の図書室まで行けるというルートになります。

●（伊藤 信彦 利用サービス部長）

多目的室につきましては、北方資料室と事務室に使っていた部屋を多目的室という形で今後活用していく予定であります。空いたスペースと言いますのは、北方資料室

が使っておりました第一書庫二層の書庫スペースでございまして、入っていた本は新しくできた文書館に移して空いていますので、そちらの方に開架書庫に入っていたものを徐々に動かしていくことになっています。

○（西村 宣彦 委員）

大変有効なものになります。ありがとうございます。

○（木村 純 会長）

道議会の方は、おそらく議会が予算を持っているということですよ。新しくなって予算は増えるのでしょうか。

●（岩淵 隆 館長）

予算の関係については、私共は承知していませんけれども在り方として旧態依然。実は道議会図書室の図書を借りられるのは議員だけ、一般の道民に貸出はしないという状況がございまして。私共としましては一般の方に道立図書館の本をその場を使って貸出をとという意図がございまして、道議会事務局の事務局次長と話をする機会もありまして、飛び抜けた話ですけれども、いずれ道立図書館の分館にしたいくらいだという思いは伝えてきています。予算については、今回は60年も経ったような本棚等を替えることに相当お金がかかったということ聞いていますけれども、本そのものを充実させるかどうかというのは今度確認しておきます。

○（木村 純 会長）

私は何度かあちらに行ったのですけれども、議員の方達も図書館の使い方を良くわかっていない。だからこれで満足しているのかなという感じもある訳です。だから例えば、あるトピックについて、こういう問題についてこういう勉強の仕方がありますよという提案をしていくなかで議会図書室も少しずつ充実していき、図書館がこんなに役に立つということを理解していただいて、やはり道立図書館は大事だなと思っていただくような場所にできたらいいなと私は思っています。難しいかもしれませんが、そういう風にしてもらいたいと思っています。喫煙室を作るくらいならば議会図書室を充実させてほしいと思います。他にいかがでしょうか。

○（西村 宣彦 委員）

今の会長と全く同意見なのですが、100名くらいいらっしゃるのでしょうか、道議会議員だけが借りられる図書館というのは非常に行政効率が悪いのではないかと思います。別に議員の方が特権意識を持っていらっしゃるということではないと思うのですが、これからの時代を考えた場合に政策立案に役立つ資料があるというのは、非常に意味があると思いますので、道議会議員の方もそれ以外の方も利用しやすい図書館になっていくのがこれからの北海道の道議会図書室、道立図書館として、もっと道民に愛される場所になっていくのかなと思います。是非、そういう方向で検討を進めていただければと思います。

○（杉原 理美 委員）

質問がございまして。資料10ページのウの高齢者・障がい者サービスの充実の（ア）黒ポツ2つめの「障がい者向け資料の郵送貸出しサービスの対象を、聴覚障害者にも広げ」とございまして。こちらについてお聞きしたいのですが、心身障害者用ゆうメールの件数実績と、聴覚障害者にも広げるにあたって、どのくらいの利用者数の見込みを考えていらっしゃるのかを参考に教えていただきたいと思っています。

●（中田 こずえ 一般資料サービス課長）

登録者数としては、4件4人というところなんです。それから聴覚障がい者の今後の利用については、実際のところどのくらいかというのは読めないところではあるのですが、障がい者サービスにつきましては人数の多い少ないに関わらず、と思っています。それから、サピエというのがありまして、サピエに公共図書館が登録すると、個人の

方がその公共図書館に登録すればサピエ図書館の提供する点字情報とか録音情報などをフリーに使えるという仕組みなのですけれど、道立図書館はそういう窓口になっていますので、実際にその都度道立図書館を使わなくても、道立図書館を窓口にして、使っていただける情報があるかなということと、こういうことを道立図書館でやっているということをして市町村立図書館の参考にしていただければと思います。

○（杉原 理美 委員）

ご質問させていただいたのが、岩見沢市立図書館でもサピエはやっているのですが、障がい者サービスの広がりを考えていくうえで道立図書館がどれくらいの実績があるものなのか参考にお聞きしたもので、登録数は少ないだろうとあらかじめ予想はしていました。ただ、日々にご利用なさる方は繰り返し御利用になる傾向があると思っていますので、実際の延べ貸出数などはどれくらいのものなのでしょうか。

●（中田 こずえ 一般資料サービス課長）

それも実はあまりなくて、前年度ですが、2件くらいだったかと思います。代理の方に入門書を借りていただいたりとか、利用については直接の貸出しがすべてではなくて電話で問い合わせもいくつもありまして、かなり時間がかかりつつも、社会福祉関係施設と連絡をとりあいながら対応しています。ただ件数的には2桁とか3桁とかいう数字にはならないのですが、それなりの個別の状況がありますのでそれにあわせて対応させていただいています。

○（杉原 理美 委員）

障がいのある方の利用にあたっての選択肢が非常に増えているのはとても良いことだと思います。道立図書館が市町村立図書館のお手本になっていただいていることが大切だと思います。どうもありがとうございました。

○（平田 弘子委員）

資料9ページのアの来館者サービスの充実の（ア）開架スペースについて御意見がありました。ここの充実というのが良いなと思ったことと、学校の作品を多目的室に展示というのがすごく良いなと思いました。よろしくお願いします。

●（岩淵 隆 館長）

多目的室の関係で良いと言っただけで背中を押していただいた気持ちです。多目的室は本館の利用者が必ず通る中2階の前でありまして、余計な工作物を撤去して、床に絨毯を敷き、窓側には度々大学生が自習しているので自習スペースを、残ったスペースはまず手始めにお隣のとわの森三愛高校の美術部の作品展ですとか、近隣の小中学生の夏休み冬休みの作品展などに如何でしょうかとこれから声かけをしていこうかなというところがございます。他にもっといいアイデアがありましたら是非皆様のお知恵をお借りしたいので、いろいろな御意見を頂戴できればと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。

○（木村 純 会長）

資料11ページの「授業お役立ちセット」は、今までもこういうものは備えていたのでしょうか。そしてどういう学校とか先生が使われているのでしょうか。情報があれば教えていただきたい。

●（伊藤 嘉奈子 企画主幹）

「授業お役立ちセット」は、元々1セットありまして、教育出版の国語の教科書に紹介されているものだけだったのですが指導要領が変わりましたので、道内で国語の教科書として使われているのが2番目に多い光村図書のセットも1つ増やして教育出版を2セットに改訂しました。学校に直接というよりは市町村で手を挙げてもらって、市町村の中で何校か循環してもらったりなど自治体の中で自由に活用していただいています。

- （木村 純 会長）  
直接先生に貸し出すのではなく、道立図書館としてこれを持っているので市町村教育委員会で使いたいところがあれば貸し出しますということですね。活発に使われているのですか？
- （伊藤 嘉奈子 企画主幹）  
ホームページでも学校の先生方へというページで広報はしているのですが、年度始めに手を挙げていただいて、年2回循環していたものを来年度は3回廻すようにしまして、セットも増えましたので延べ利用数としましては増えるかたちになります。
- （木村 純 会長）  
これを使ってこういう授業をしましたというのがわかると・・・。
- （伊藤 嘉奈子 企画主幹）  
アンケートを利用した市町村にとらせていただいて、国語のセットは各学年の教室に配置して朝の読書の時間に読んでもらったりですとか、「お役立ちセット」以外については、「愛食・食育ボックス」というセットがあるのですが、食育の授業ですとか畑の栽培などの授業で活用いただいたり、「体力向上・スポーツボックス」というセットは、玄関ロビーに置いたり保健室に置いていただいたりした例もありました。
- （木村 純 会長）  
よろしいでしょうか。それでは次に、その他事項について、説明してください。
- （桑原 裕子 一般資料室長）  
資料2について、説明
- （吉原 和夏子 北方資料室長）  
資料3～5について、説明
- （木村 純 会長）  
今の説明について、何か質問はありませんでしょうか。
- （西村 宣彦 委員）  
雑誌スポンサー募集について、面白い取組だと思うので、是非集まれば良いと思っています。これはどちらか他の図書館でも実績があって取り組まれたということでしょうか。
- （加藤 ひろみ 資料整備課長）  
道内でも道外でもやっていますし、そういったところを参考に、スポンサーの協力をいただきながら一冊でも多く新しい雑誌を道民の皆様にご利用していただくということで取り組んでいます。
- （木村 純 会長）  
こういう雑誌をお願いしたいとするのか、企業が、こういう雑誌を、ということでしょうか。
- （加藤 ひろみ 資料整備課長）  
当館で作成した雑誌リストの中から選んでいただくことを基本としまして、リスト以外の希望があった場合はその都度検討することになろうかと思えます。
- （木村 純 会長）  
市町村立図書館と比べると必ずしもお客さんが多く来る訳ではないので、企業がきちんと理解してくれることが必要だと思います。『ビッグイシュー』はリストに挙がっていますか。
- （加藤 ひろみ 資料整備課長）  
現在のところは挙がっていません。
- （木村 純 会長）  
ちょっと検討してみてください。

●（加藤 ひろみ 資料整備課長）

はい、わかりました。

○（木村 純 会長）

他にいかがでしょうか。

○（西村 宣彦 委員）

たくさん集まればそれでいいと思うのですが、広告価値というのは利用者がいてなんぼだと思うので、若干場所的に不利な部分もありますので広告主が魅力を感じるようなことを考えられたら良いなと思います。

●（加藤 ひろみ 資料整備課長）

はい、どうもありがとうございます。

○（木村 純 会長）

もう少し時間がありますので、全体でいかがでしょうか。

『ビッグイシュー』と言ったのは、今、道庁前と地下歩道、ヨドバシカメラの前の3か所でやっているのですが、ホームレス自体が減ってきていて応援する人がいなくなってきた。『ビッグイシュー』という雑誌自体はホームレスの人が利益を生み出すことが難しくなってきた。中身はすごく面白いのもっとたくさんの人に読んでもらいたいので、そういう形で読んでいただいたら良いと思います。今、私は月に2回、ボランティアで『ビッグイシュー』のお手伝いをしています。

他にいかがですか。コロナウイルスがいつまで続くか気がかりですけど、文書館も出来て、春が楽しみです。図書館全体も閲覧室も前より随分明るくなって、快適になって楽しみです。他に如何ですか。

○（杉原 理美 委員）

以前の大きな地震や停電、今回のコロナウイルスについての感染対策等は、道立図書館は広くネットワークをお持ちですので、何らかの形で残していただきたいと思っています。どうしても自治体一つ一つについてはその自治体の中での知識や経験の共有にしかないので、この状態が収まってお時間ができたらやっていただけたらと思っています。

○（木村 純 会長）

それでは、他になければ今日予定されていた議題の審議を終了したいと思います。どうもありがとうございました。